



Galerie ルタンドオール

卓越した技能者を国が表彰する「現代の名工」で黄綬褒章の受章者でもある刺繍画家・洋画家の荒木千恵子さんのギャラリー兼アトリエ「ルタンドオール」が、今年9月、相生町に移転オープンした。作品が展示されるギャラリー内では、あまり目にするのできない刺繍絵画の制作風景を見学することもできる。

横振り刺繍の技術を用いて刺繍糸で描く作品は、ミシン針の振りの幅を調整しながら線や面、立体感を表現する。スカジャンなどの刺繍装飾に施される技術だが、絵画をもとに描かれる荒木さんの作品は超繊細でより芸術性が高い。

荒木さんは東京都墨田区生まれ、戦禍を避け家族で桐生に移住。女子美術大学芸術学部美術家で洋画を専攻し、大学卒業後は刺繍業の父荒木喜三郎氏より刺繍技術を学んだ。その後は刺繍と絵画を合わせた作品作りに取り組み、装飾の一部である刺繍を芸術へと昇華させている。

作品のモチーフとなるのは、武将や舞子を描いた和風のものから海外の風景、動植物など様々。荒木さんの作品を代表する桐生織の生地に直接刺繍する作品は、背景となる生地的美しさとそれに負けないモチーフの迫力が魅力だ。市外県外で個展を開くことも多く、「桐生織」と「刺繍」で産地の発信にも貢献している。海外の風景では、刺繍と思えないような高い写実性や絶妙なグラデーションが表現されたものや、絵本の1ページのようなメルヘンを感じられるものまで多彩。いずれも観賞する人それぞれが想像力を膨らませることができるよう、物語性が大切にされているのも特徴である。

「ルタンドオール」はフランス語で「黄金の刻（とき）。息をのむような大作から、心が和む可愛らしい作品まで、ルタンドオールでは誰にとっても美しい時間を感じられるはずだ。



糸でいざなう悠久の美
刺繍ギャラリーが移転オープン

- 住所／桐生市相生町3-446-19 ●電話／0277-32-3832 ●HP／<http://araki-chieko.com>
- 営業時間／10:00～17:00 ●定休日／日曜日・祝日